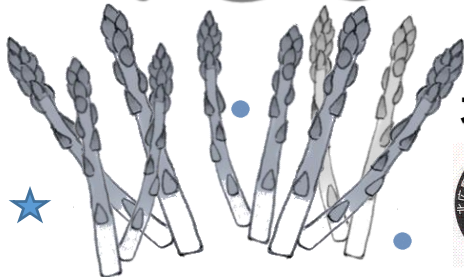


みどりのアスパラガス



北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子



療育キャンプ 参加報告！



7月15日、16日に、療育キャンプに参加してきました。参加人数は、対象児童5人（全員男子）と、家族、ボランティアさん、実行委員の方々合わせて総勢30人でした。

今年は宿泊所がネパール砂川で、例年といくつか変更がありました。

1日目は天候に恵まれて、小平町おにしかツインビーチでの海水浴。

宿泊施設の浴室の広さの関係で、海水浴後に、温泉施設「ゆったりかん」で早めの入浴をして、宿泊所へ。宿泊所はお部屋が1室12～16人定員の大部屋なので、それぞれのご家庭の状況に合わせて、部屋割りがされ、息子は実行委員さんを含めて男子部屋、私は3家族合同の女子部屋でした。

夜のキャンプファイヤーや花火は、事前に例年よりも小さいものと聞いていたのですが、なかなかの迫力あるものでした。

その後の交流会は、子供達の乱入等もあったのですが、皆さんと話がつきずあつという間の時間でした。

2日目は、母子分離活動で、子供達は妹背牛町カーリングホール、親は妹背牛温泉ペペルに行きました。お昼は「グルメファクトリー滝川店」でバイキングでした。

途中から大雨になりましたが、活動に影響無く終えました。

いろいろ変更があったことで子供がどう感じるか気になっていましたが、とても楽しんでおり、成長を感じ、来年も参加したいと言っていました。

仲上

農業体験教室に参加しました！

フレンドリー
センター事業

8月20日（日）親子で参加しました。ブルーベリー狩りでは農園の方に、美味しいブルーベリーの見分け方を教えて頂きました。ビックリするほど粒が大きくて甘かったです。



恵庭市内の牧場では初めての乳搾りに挑戦！（息子はこの体験が1番楽しかったそうです。）

牛乳からのアイスクリーム作りやブルーベリーをのせたピザ作りなど皆さん一生懸命でしたので味は格別でした！広い牧場でお天気も良かったので、牛に干し草をあげてのんびり出来ました。有難うございます！！

岡本

9月16日、17日の日程で初めて研修旅行に参加しました。

1日目はまず、北海道ワイン小樽醸造所の見学でした。ここではスライドを見て北海道ワインの歴史や特色等を学んだ後、ワインコルクの抜き方のミニ講座を受けました。

我が家では普段ワインを飲む習慣が無いので始めて知ることばかりでした。

更にワインの試飲もさせていただきましたが普段ほとんどアルコールを飲まない私でもとても美味しく感じられました。

また市販されていないここでしか飲めないブドウジュースというものを頂いたのですが、それがとても美味しく感動しました。

その売店には色々なワイン等が販売されており、お目当てのものを購入することができました。

私はソフトクリームが大好きで、そこで食べたソフトクリームがとても美味しかったので大変満足しました。

その次はキロロ・トリビュート・ポートフォリオというホテルに移動したのですが、とても立派なホテルで入るなりロビーにはとても大きなシャンデリアがあり、その豪華さに圧倒されました。キラキラして綺麗なものが大好きな息子は暫くそのシャンデリアを眺めて喜んでいました。

お部屋もとても素敵でゆっくりとリラックスさせていただきました。

夕食までの時間は自由時間でそれぞれアクティビティー等で自由に過ごすという事でした。私達はお土産を買ったり外を散歩したり、とてもゆっくりとした時間を楽しみました。

夕食では、これまた豪華なバイキングでお腹がいっぱいになるまで頂きました。

夕食後はグランシップというところで遊びその後、温泉に行きまし



た。お風呂の大好きな息子はとても満足した表情で戻ってきました。

2日目は、ホテルでの朝食後集合しキャンドル作りというスケジュールでした。

ここでは親も一緒にキャンドルを作ることができたのですが、息子があつという間に2個を作りあげたので私の出番はありませんでした。

出来上がったキャンドルは人にプレゼントしても良い位の出来ばえで、研修旅行での良

い思い出の品になりました。

その後、ポニーの丘というところに行き、動物を見たり触ったり自然と触れ合う時間を過ごしました。



そこでもまたソフトクリームを食べたのですが、そこもまたとても美味しく大満足でした。

その後、小樽ウイングベイへ移動し自由時間となりました。

私達は、そのフードコートで昼食を済ませた後、次の集合時間までイカロスの城というところでたっぷり遊びました。

楽しかった時間も終わってしまいバスに乗り帰る車中、休憩の金山パーキングで一端休憩時間となりましたが、息子はよほど楽しく疲れたのか爆睡し起きませんでした。

初参加の研修旅行でしたが、親子共々とても楽しい時間と思い出を作ることが出来ました。

研修旅行担当の方、ボランティアで参加して下さった福祉課の吉崎さん、佐藤さん大変お世話になりました。有難うございます。

来年もまた是非参加したいなと思います。



第4回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会

北海道札幌大会～終了しました

去る9月23日、24日、二日間にわたる育成会連合会全国大会がロイトン札幌にて、開催されました。全国から、ご本人、家族、関係者が一同に会し「今こそ創ろう！自信と誇りをもって生きる社会を共に」各分科会に分かれシンポジウム、意見交換を行いました。

2日目は、神奈川大学特別招聘教授 浅野史郎氏の記念講演が開催されました。



第2分科会 「働く」 に参加して

討議テーマは、・障がい者雇用の現実と課題 ・働くを支える相談、支援のあり方 ・企業、学校、福祉の連携について ・就労定着支援事業に期待すること ・就労継続支援A型と就労移行支援の今と課題についてでした。

午前の部に、大分県、社会福祉法人シンフォニー 理事長の村上和子氏の基調講演と、午後の部で、村上さんをはじめ、北海道はまなす食品株式会社代表の永田吉則氏、旭川市春光台中学校校長村田昌俊氏、青森県観光農園アグリの里おいらせの苦米地義之氏をシンポジストに迎え、北海道社会福祉事業団、参与の小林繁市氏がコーディネーターをされてのシンポジウムでした。

企業、教育、福祉と支援の立場からだけでなく、保護者としての立場からの経験談も聞く事が出来ました。我が子はまだ義務教育中で、就労についてまだ未知の部分が多く全部を理解出来なかったのですが、就職が決まっただけでは終わりでは無く、働き続けるための相談が出来る人や、機関又はシステムが充実して欲しいと思いました。(仲上)

第4分科会『暮らす』に参加して

基調講演 福岡寿氏は障害のある方を地域で支援するための、長野県の地域移行の取り組みなどをお話されました。総合安心センター「はるかぜ」では障害者と家族を24時間支える、地域で安心して暮らせる事としています。又、地域生活移行から学んだ事として、ゆるやかな自己決定が大切である事。本人たちが意思決定出来ないと思っていたのは情報を集められないから。先に何でも段取りしないで本人たちに経験させるという事でした。

お話を聞いて、今後息子の暮らしについては息子本人が選択出来るように本人自身の体験が大切と思いました。(岡本)

「本人の想いに寄り添う」

この度、初めて全国大会に参加しましたが、大会の規模の大きさと、全国から参加している熱心な会員さんの多さに驚きました。

今回、私は、第4分科会「暮らす」に参加しました。分科会の中で、長野県の福岡寿氏による基調講演がありました。ご自身が、長峰学園で入所者をグループホームでの地域生活へ移行したことや、どうやって本人達を支援していったらいいのか等、経験された事を伝えて下さいました。保護者にグループホームの生活を理解し、納得してもらう為に10年かかったそうで、当時のご苦労は大変なものだったようです。子供を想う親の気持ちも良く分かり、でも、本人達には決められないと思っていた事が、間違いだと気づいてもらわなければならなかった。保護者がグループホームでの生活を納得した時に、親離れ子離れが、やっと出来たと言ってもらえたそうです。そして、今は、情報を集めたり、本音を伝える事が難しい本人達に寄り添い、本人が気づく手がかりを見つけ、行動を支える。本人の心が動いたことに気がつく事が出来たら、サービス等利用計画に生かしていくと、おっしゃっていました。

2日目は、記念講演で浅野史郎氏の「地域・人権・普通の生活」をお聞きしました。知的障がい者の地域移行を全国に先駆けて進められたお話や、その時その時の浅野氏の気持ちをストレートに伝えるところに、私達を引き付け、あっという間に時間が過ぎて行きました。

タイトルの「地域・人権・普通の生活」の中でも、人権が一番大事だとおっしゃっていましたが、全ての人に言える事で、当たり前なんだけれども、とても重い言葉でした。

陽介は、2日間、チャレンジドに参加し、ヨサコイを踊ったり、スポーツチャンバラや、ペンギンアートの作品作り等をして、楽しんできました。(中川)

特別分科会～「合理的配慮」理解啓発キャラバン隊 全国サミット報告！！

座間市の啓発キャラバン隊をはじめて生で見られる！とのことで参加しました。啓発隊の実演はとても素晴らしいものでした！！シンポでは各地域の啓発活動の報告があり。そのノウハウ、知的・発達障がいのある子の親だからこそできる「啓発」の意味を再確認できました。これからの、私たちの活動の方向を示してもらえた気がします！！自らの気力があるうちに是非！やってみたい！と久々に心躍りました。(斉藤)

第15回全道肢体不自由児者研究大会に参加して

9月30日(土)に、札幌道民活動センター「かでる」にて開催された研究大会に参加しました。全肢連会長、清水誠一さんの基調講演の後、今年は井戸端トークという形で、アンケートを中心に現実困っていることを話合いました。ひとつの問題に対して何人かの父母、アドバイザーが、経験談・アドバイスを話し、皆さんで模索して解決を見出すことになったのですが、参考意見が多い中、地域格差もあり、解決に至らないことも多く、すべてを解決するにはまだまだ多くの時間と情報、さまざまな支援が必要なのだと実感しました。

また、退会の中で、一人の重度の青年が、ひとり暮らしをしたいと経験談を熱心に聞いている姿には関心させられました。
(肢体部長：井上)

★活動報告★

8月10日

保健福祉計画検討委員会全体会議/障がい福祉部会(加藤)

北広島市社会福祉協議会理事会(中川)

8月22日

大人の発達障害学習会

(加藤、佐藤、岡本、中川、中上、高橋、斉藤)

自立支援協議会全体会(加藤、佐藤)

8月26日

グリーンフェスティバル

9月8日

育成会理事会(加藤)

9月12日

保健福祉計画検討委員会/障がい部会(加藤)

9月14日 役員会

9月23~24日

第42回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会

北海道札幌大会

(加藤、中川、仲上、高木、岡本、田中、斉藤)

10月1日 公民館祭り

10月6日

福祉のつどい実行委員会(中川)

10月10日

保健福祉計画検討委員会(加藤)

10月12日 青空会

自立支援協議会全体会



北ひろしま福祉会

グリーンフェスティバル参加報告

8月26日(土)グリーンフェスティバルが北ひろしま福祉会 共栄とみがおかの裏庭で実施されました。

去年迄の、市民の郷祭りの名前を変えたということです。

今年のテーマは【縁】～えん～です。

いつも、祭に参加して頂いている方々に、楽しんで貰い、来年も元気で又あおうね、という思いで開催されました。親の会はくじ引き、リサイクル品、手作り品の販売でした。途中、通り雨もありましたが無事に終えることが出来ました。

お手伝い頂いた皆様、祭りに来てくださった皆様、ありがとうございました。

第42回北ひろしま福祉のつどい

日) 10月14日(土)

時) 10:00~12:30

場所) 芸術文化ホール

講演: 食べて防ぐ! 認知症

講師: 北川恵子 氏

ご参加ください!



速報

ゆうちょ財団様のご協力をいただき、H30年2月に、障がいのあり方、保護者のための「金融教育講座」を開催いたします。講師は鹿野佳代子氏です。「障がいのあるこのお金トレーニング」の著者)詳細は後日お知らせいたします。乞うご期待!!

※この会報は会の趣旨に賛同下さる方々に私たちの活動を広く紹介する目的で発行しています。他の目的に使用しない様、また、破棄する場合は取り扱いにご注意下さる様お願い致します。

◆会報担当 中川 斉藤◆